

the people

元気なまちには 元気な主張を続け
元気に行動する 市民がいる

the people (NPO法人ザ・ピープル)

平成31年(2019年) 1月号

発行:特定非営利活動法人 ザ・ピープル

代表者:吉田 恵美子

所在地:〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6

TEL:0246-52-2511 FAX:0246-92-4298

URL:http://npo-thepeople.com/

E-mail:the-people@email.plala.or.jp

onahama.volunteer@gmail.com

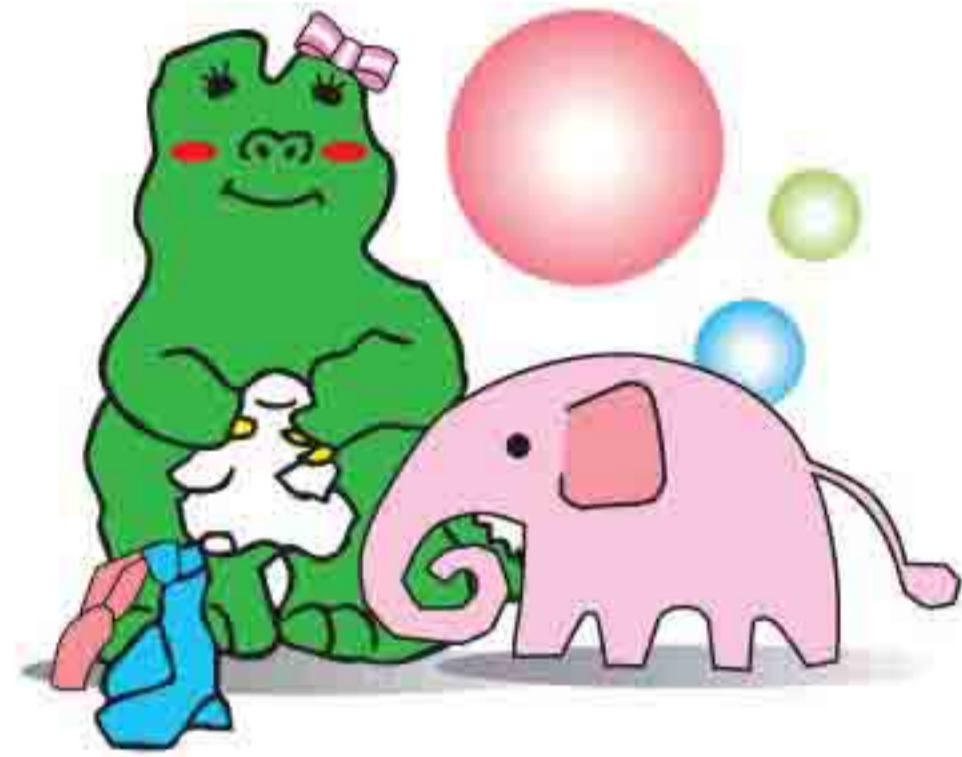


寒中お見舞い申し上げます

お正月気分もすっかり抜けてしまったこの頃ですが、平成最後の年も、昨年同様お付き合いくださいますよう、お願い申し上げます。

ザ・ピープルとしては、1990年の任意団体としての設立から数えて30周年が目前に迫ってきました。ここまで紆余曲折の多い会運営ではありましたが、今年度からは事務局長と会計担当スタッフが40代に若返り、会創設期からを支え続けてきたシニア世代と中堅世代がタッグを組みながらの会運営ができるようになりました。

本会の活動は、「古着を燃やさない社会づくり」「オーガニックコットン栽培を通じた地域の農業とコミュニティの再生」「民間が設ける生活困窮者のセーフティーネット フードバンク」の3事業を柱に、スタッフとボランティアたちの手でしっかり支えられています。地域の市民の皆様、企業の皆様、この地域を更に住みよいものとするため、是非ご一緒ください。様々な形での参加、連携をお待ちしています。



「フードバンクを考えるフォーラム」開催

1月26日いわき産業創造館で初めて開催したフォーラムにはフードバンクに関心を持つ30人を越える方々が集い真剣に耳を傾けていました。

最初にフードバンク岩手の副理事長阿部さんから活動内容や先進的事例が紹介されました。岩手県内では既に20ヶ所の拠点が整備され、各事業所が連携を取りながらスムーズに食品の受入れや配付が行われており、年間約900~1000件の緊急支援要請に対応している話があり驚きでした。

続いて昨年発足したばかりのいわきでの取り組みと現状を吉田理事長が報告。理解者の拡大に向けスタッフが小名浜地区のスーパーの店頭に立ち呼びかけをする「フードドライブ」を行っている実情などを紹介しました。

今後食品ロスといった社会問題の解決にも繋がるこのフードバンク事業。近い将来福島県内にも拡大し、岩手県のように連携の取れる形でやって行けたら素晴らしいと思います。



▲フォーラムの様子

社協や包括支援センター等の機関と連携しながら、差し迫って食品を必要としている家庭や施設等に対し配付を進めていますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

3月10日は久ノ浜へ

昨年3月11日、久ノ浜地区で震災から7年という節目に催されたライトアップ事業。その事業が今年も催されます。「ふくしまメモリアルライトアップ2019in久ノ浜 つむぐ ともす かなでる」がそれです。今年は、前日が日曜日ということで、3月10日の開催になります。

「ともす」ランプシェードは福島でみんなの手で育ててきたコットンを、これまで様々なイベント会場で皆さんに糸にして頂き、風船に巻きつけてひとつひとつ手作りしたものです。「織姫の会」の皆さんが制作の中心的な役割を担って下さいました。ほかにも、企業の社員ボランティアの活動として、JCBの社員の方々等が制作に協力して下さいました。

「かなでる」には、いわきを中心に活動しているアーティストの皆さんのほか、本会が運営していた復興支援ボランティアセンターのサロン事業などで何度もお世話になっている文楽人形の木偶舎と勘緑さんがチェロや和笛、和太鼓とコラボするステージも用意されています。

そして、「つむぐ」体験も「織姫の会」の皆さんの指導の下、来場者の方々に当日楽しんでいただけます。もちろん、自慢のオーガニックコットン製品の販売なども行われます。どうぞ、ご家族お揃いでおいでください。

なお、本事業は復興庁「心の復興」の事業として催されます。

つむぐ ともす かなでる
ふくしまメモリアルライトアップ2019in 久ノ浜
日時:3月10日 16:00-20:00
会場:いわき市久ノ浜町
(浜風きららおよびその周辺)



▲ライトアップ案内チラシ

コットン収穫が終わりました

今年度のコットン栽培にお力添え下さった多くの皆様、ありがとうございました。いわき市内外の全ての圃場でのコットン収穫作業が終了しました。今、本会の倉庫には収穫後陰干しして袋詰めされたシードコットン(種付きの状態の綿)が山積みになっています。これから電動の綿繰り機で綿繰り作業を行い、原綿として紡績工場に出荷することとなります。

去年は、天候にも恵まれ、これまでで2番目に多いシードコットン約900kgの収穫になる見込みです。また全国各地からお送り頂いたコットンも、各地で愛情込めて栽培いただいたことが伝わる形で、お届けいただきました。心から感謝申し上げます。